



俺と日の出



book-fukunokami

俺と初日の出

「俺も初日の出を見るんだ」

俺は初日の出の前で叫んだ。

「おう、おう、兄ちゃん、もう初日の出見てるじゃんけ」

お姉さんが叫んだ。

「はい、見えます、初日の出見えます」

「そうだよ、初日の出見てるよ」

「綺麗な初日の出ですね」

「雲もないし良く見えるよ」

そして初日の出は完全に昇った。

「ああ、いい初日の出だったわ」

俺はお姉さんに少し恋心をおぼえた。

「あんた、あたいに惚れようと思っても無駄だよ」

「はい」

「あたしは、あんたには興味無いから」

「はい、初日の出を見ただけの関係です」

それだけだった。